

1. 大豆入札取引の概況

(1) 取引参加者登録状況

売り手登録者は、前年産と同じく全農、全集連の2者であった。

買い手登録者は、法人、個人合わせて170者で前年産の167者から3者増加した。

また、同一の法人で本社、支社等がそれぞれ参加する場合にそれぞれを1とした事業所数ベースの登録者数は、176者で前年産の173者から3者増加した。

(図表 I-1-1)

(2) 入札取引開催状況と入札参加状況

平成24年12月19日の第1回から平成25年7月24日の第12回まで開催した。月別には12月、1月、2月各1回、3月～7月毎月2回開催した。(図表 I-1-2)

各回の入札者数は、第3回(2月20日)の96者が最も多く、第1回(12月19日)の49者が最も少なかったが、前年産の同時期を上回ることが多かった。(図表 I-1-3)

入札回数別買い手登録者の分布をみると、前年産に比較して入札回数11回以上の者の割合が前年産23%から27%に増え、一方、一度も入札しなかった者も前年産25%から32%に増えた。(図表 I-1-4)

(3) 国産大豆の供給と入札取引数量

平成24年産大豆の生産は、作付面積は、全国で5千6百ヘクタール減少した。

作柄は良く、平均単収180kg/10aと過去5年間では最も高い水準となった。

作付面積の減少にかかわらず、作柄に恵まれたことから、収穫量は、前年産に比べ1万7千トン増の、23万6千トンとなった。(図表 I-1-5)

地域別の収穫量をみると、作付が減少し、作柄も前年を下回った九州で収穫量が減少し、関東・東山で前年並みであった他は、何れの地域でも増加した。

国産大豆の供給状況を示す。(図表 I-1-6)

平成24年産は、全農、全集連の集荷数量は、播種段階、収穫開始段階とも前年産に対し減少を見込んだが、集荷実績数量は前年産に対し1万4千トン増の18万5千トンとなった。

入札取引による販売数量(以下、「落札数量」という。)の割合は、前年産の21%を上回る26%となった。

平成16年産から24年産までの月別の落札数量と平均落札価格の推移をグラフに示す。(図表 I-1-7)

各月の落札数量は、19年産から大きく減少した20年産以降、毎年産低調な取引で推移したが、平成23年産から、活発な取引に転じ、当年産の月平均落札価格は、前年産と同様に月を追って上昇する傾向を示した。

売り手の販売数量を入札取引、相対取引、契約栽培取引の3種類の販売方法別数量に区分してみると、販売数量合計が前年産から増加する中で、入札による販売数量は、前年産を1万2千トン上回る4万8千トン、契約栽培取引は、前年産を2万7千トン上回る9万1千トンとなった一方で、相対取引による数量は、前年産を2万4千トン下回る4万6千トンとなった。(図表I-1-8, 9)

産地品種銘柄毎の集荷数量と落札数量を比較したのが図表I-1-10である。

主要な銘柄のうち、集荷数量に対する落札数量の割合(落札割合)が30%を上回った銘柄は、フクユタカ、エンレイ等豆腐原料となる各産地の銘柄である。

一方1%を下回った銘柄には、納豆原料として利用される小粒・極小粒銘柄の主要な銘柄である北海道スズマル、ユキシズカ、茨城納豆小粒が含まれた。

(4) 入札・落札状況

入札状況を相場・入札ロット数の比較で見ると、全期間を通じて入札ロット数が相場ロット数を上回り、特に入札ロット数を相場ロット数で除した割合(入札倍率)は、全期間2倍以上の状況が続き、5月以降5倍以上に達した。(図表I-1-2、図表I-1-11)

落札結果を見ると、各回不落札が不落札の大部分を占めるようになり、前年産と同様に落札下限価格未達による不落札が少ない状況で推移した。(図表1-1-12)

月別落札状況は、図表1-1-13のとおりである。

相場数量に対する落札数量の割合(落札率)は、高い水準で推移し、年産平均では76.5%となり、平成23年産の60.2%を上回った。

各月までの落札数量の累積グラフを見ると、5月で前年産を上回った。(図I-1-14)

(5) 落札価格

1俵(60kg)当たり年産平均落札価格は、前年産(8,299円)をやや下回る、8,145円であった。(図表I-1-15)

月別平均価格の推移を見ると7,000円台で始まり、月を追って上昇し、6月に9,000円台に達して7月に当年産の取引を終了した。(図I-1-16)

当協会が入札取引を開始した平成12年産以降の年産別平均落札価格の推移を見ると、平成17年産以降7,000円前後で推移した後、23年産において8,000円台に上昇し、当年産では、前年産並の価格であった。(図I-1-17)

産地品種銘柄別の落札価格を見ると、銘柄によりまちまちであるが、主要な銘柄では23年産では東海地方での気象災害で減収した岐阜・愛知・三重フクユタカが500円程度下落したほか、佐賀フクユタカ、新潟、富山エンレイ等主要な豆腐原料用銘柄の価格が前年産を下回った。一方、宮城ミヤギシロメ、宮城タンレイ、秋田リュウホウ、青森おおすず等東北地方の銘柄が前年産に比べ価格が上昇した。(図表I-1-18)

主要産地品種銘柄のうち、代表的なものの月別落札価格の推移を過年産と比較

したグラフを以下に示す。(図表 I-1-19~21)

主に豆腐用に仕向けられる銘柄のうち、九州及び東海地方のフクユタカは、取引開始時に 8,000 円台の高い水準となったが、前年産に比べてその上昇は穏やかなものとなった。(図表 I-1-19)

新潟県を始め、主に日本海沿岸各県で生産されるエンレイは、産地によって異なった動きを示したが、取引期間中の価格の変動は、前年産に比べて穏やかであった。(図表 I-1-20)

北海道の代表的銘柄である北海道とよまさりは、前年産と同様に取引期間中価格が上昇したが、前年産に比べ、その動きは穏やかであった。(図表 I-1-21)

とよまさりを構成する各品種の落札状況を見ると、主に煮豆等に仕向けられるユキホマレが最も多く、次いで主に豆腐用に仕向けられるトヨムスメであるが、ユキホマレの落札数量が更に増加した一方、トヨムスメは、前年産に比べ、大幅に減少し、価格もユキホマレを下回った。(図表 I-1-22)

代表的な納豆仕向用銘柄である北海道スズマル、ユキシズカ、茨城納豆小粒の落札状況を示す。(図表 I-1-23、図表 I-1-24)

集荷数量は、3 銘柄計で前年産を上回っており、特に北海道ユキシズカが約 800 トン増加した。一方、落札数量は、前年産を上回ったものの、集荷数量に対する割合は、3%と入札での販売が少ない状況が続いている。

内外の大豆価格の推移を示す。(図表 I-1-25)

国内産と同じ用途と考えられる海上コンテナによる輸入大豆の価格は、前年に比べて約 1,000 円高い、4,900 円となり、国産価格は前年並みであったことから、内外価格差は縮小した。(図表 I-1-26)

平成24年産大豆入札取引年報

I - 1 図・表

図表 I-1-1 登録者数推移

年産	売り手		買い手	
	登録者数	うち 全国団体	登録者数 (事業体数)	(事業所数)
平成12年産	6	2	140	
平成13年産	2	2	148	
平成14年産	2	2	161	
平成15年産	2	2	180	187
平成16年産	2	2	185	193
平成17年産	2	2	181	189
平成18年産	2	2	184	192
平成19年産	2	2	180	187
平成20年産	2	2	182	189
平成21年産	2	2	184	191
平成22年産	2	2	180	187
平成23年産	2	2	167	173
平成24年産	2	2	170	176
増減	0	0	3	3
平成23年産買い手登録者の 内、24年産の登録をしない者			-2	-2
新規買い手登録者			5	5

注1. 買い手登録者数(事業所数)は、同一企業で複数の事業所(本店、支店等)を登録した場合、それぞれを1と数えた数である。

注2. 継続には、会社組織が変更になる等で新規の組織が以前の組織から業務を承継した場合を含む。

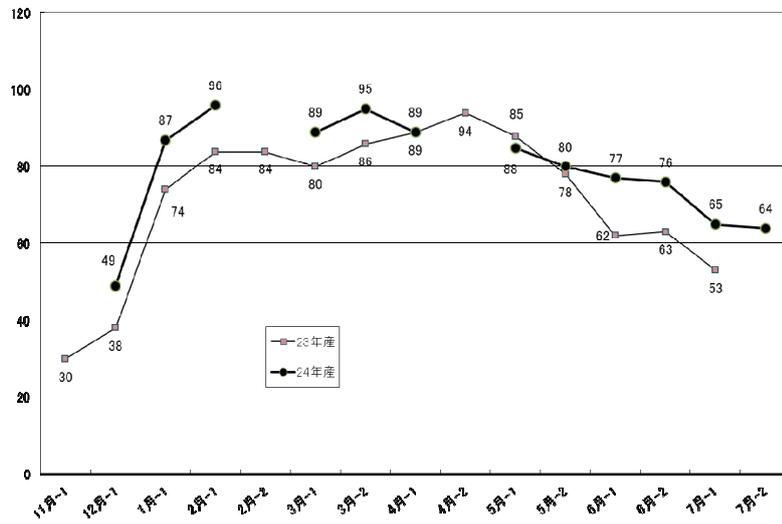
1

図表 I-1-2 開催状況

入札回	入札日	上場者 者	入札者 者	ロット数		
				上場	入札	入札/上場
1	12月19日	2	49	347	804	2.3
12月計				347	804	2.3
2	1月23日	2	87	784	2,039	2.6
1月計				784	2,039	2.6
3	2月20日	2	96	834	2,442	2.9
2月計				834	2,442	2.9
4	3月13日	2	89	867	2,576	3.0
5	3月27日	2	95	748	2,651	3.5
3月計				1,615	5,227	3.2
4	3月13日	2	89	867	2,576	3.0
5	3月27日	2	95	748	2,651	3.5
3月計				1,615	5,227	3.2
6	4月17日	2	89	724	2,644	3.7
4月計				724	2,644	3.7
7	5月15日	2	85	337	1,686	5.0
8	5月29日	1	80	286	1,649	5.8
5月計				623	3,335	5.4
9	6月12日	1	77	276	1,449	5.3
10	6月26日	1	76	259	1,370	5.3
6月計				535	2,819	5.3
11	7月10日	1	65	245	1,213	5.0
12	7月24日	1	64	233	1,116	4.8
7月計				478	2,329	4.9
計				5,940	21,639	3.6

2

図 I - 1 - 3 各回入札者数推移



3

図表 I - 1 - 4 入札回数別買い手登録者数(年産比較)

区分	平成21年産 (17回)	平成22年産 (15回)	平成23年産 (14回)	平成24年産 (12回)	割合			
					平成21年産	平成22年産	平成23年産	平成24年産
買い手登録者数	191	187	173	176	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0回	66	71	43	56	34.6%	38.0%	24.9%	31.8%
1~5回	60	52	46	36	31.4%	27.8%	26.6%	20.5%
6~10回	37	46	45	37	19.4%	24.6%	26.0%	21.0%
11回以上	28	18	39	47	14.7%	9.6%	22.5%	26.7%

4

表 I-1-5 大豆生産概況

	20年産	21年産	22年産	23年産	24年産	対前年増減
作付け面積 (ha)						
全国	147,100	145,400	137,700	136,700	131,100	-5,600
北海道	24,000	24,500	24,400	26,400	27,200	800
都府県	123,100	120,900	113,200	110,300	103,900	-6,400
東北	42,700	41,600	37,700	35,200	32,700	-2,500
北陸	15,800	15,400	14,600	14,000	13,100	-900
関東・東山	14,700	14,400	13,500	12,400	11,100	-1,300
東海	10,600	10,700	11,100	11,600	11,500	-100
九州	23,400	23,000	21,100	22,000	20,900	-1,100
その他	15,900	15,800	15,200	15,100	14,600	-500
収穫量(t)						
全国	261,700	229,900	222,500	218,800	235,900	17,100
北海道	56,800	48,500	57,800	59,900	68,000	8,100
都府県	204,900	181,400	164,700	158,900	167,900	9,000
東北	61,900	57,000	48,100	47,700	50,000	2,300
北陸	26,700	24,200	20,000	19,800	23,300	3,500
関東・東山	25,200	23,700	16,400	17,300	17,600	300
東海	16,200	9,880	17,500	12,300	16,100	3,800
九州	50,100	45,000	43,800	43,700	40,100	-3,600
その他	24,800	21,620	18,900	18,100	20,800	2,700
単収(kg/10a)						
全国	178	158	162	160	180	20
北海道	237	198	237	227	250	23
都府県	166	150	145	144	162	18
東北	145	137	128	136	153	17
北陸	169	157	137	141	178	37
関東・東山	171	165	121	140	159	19
東海	153	92	158	106	140	34
九州	214	196	208	199	192	-7
その他	156	137	124	120	142	23

資料：農林水産省作物統計

5

図表 I-1-6 国産大豆供給の推移

区分	事項	(単位)	平成22年産	平成23年産	平成24年産	24年産 -23年産
生産実績 (作物統計)	a1 作付け面積	ha	137,700	136,700	131,100	-5,600
	a2 単収	kg/10a	162	160	180	20
	a3 収穫量	トン	222,500	218,800	235,900	17,100
出回り実績 (農産物検査)	b1 検査総数量	トン	188,022	187,645	204,625	16,980
	b2 普通・特定加工用	トン	186,237	185,788	202,952	17,164
	b3 種子用	トン	1,785	1,858	1,673	-185
農家消費等	a3-b1	トン	34,478	31,155	31,275	120
生産者団体等 集荷数量	c1 生産計画作付け面積	ha	113,432	111,421	106,224	-5,197
	カバー率 c1/a1	%	82.4%	81.5%	81.0%	
	c2 生産計画集荷予定数量	トン	190,727	198,724	180,827	-17,897
	c3 集荷見込数量	トン	188,102	180,449	174,964	-5,485
集荷外数量	b2-c4	トン	173,963	171,599	185,424	13,825
生産者団体等 販売数量	d1 入札販売予定数量	トン	12,274	14,189	17,528	3,339
	d2 落札数量	トン	62,495	59,855	57,970	-1,885
	d3 契約栽培取引・相対取引計 c4-d3	トン	20,667	36,202	48,153	11,951
	d2/c4	%	11.9%	21.1%	26.0%	

注

生産者団体等：売り手である全農及び全集連

生産計画：作付時点(6月頃)において生産者団体等が調査した計画数値

集荷見込数量：収穫開始時点(10月頃)において生産者団体等が作成する集荷・販売計画において見込んだ集荷数量

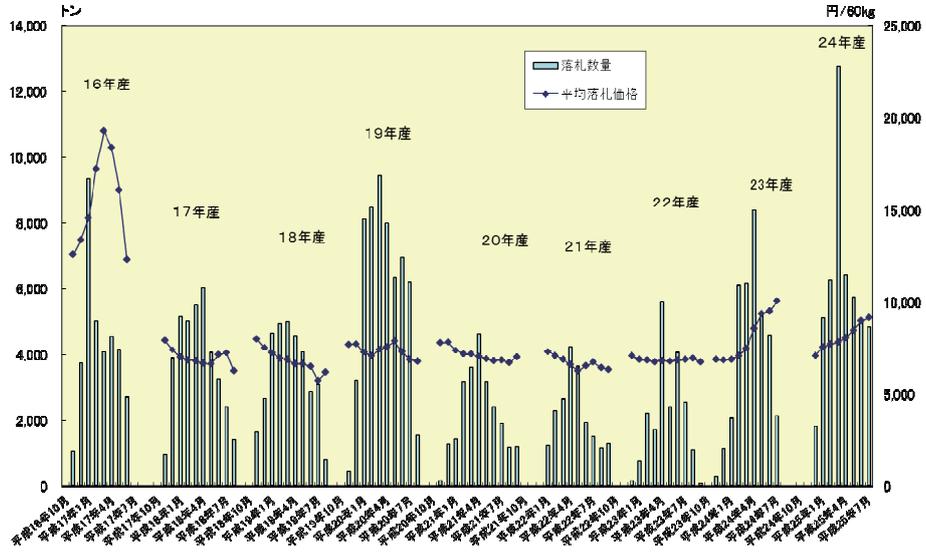
入札販売予定数量：集荷・販売計画において入札取引で販売することとした数量

資料：農水省「作物統計」、農水省「農産物検査結果」、売り手報告、当協会業務資料

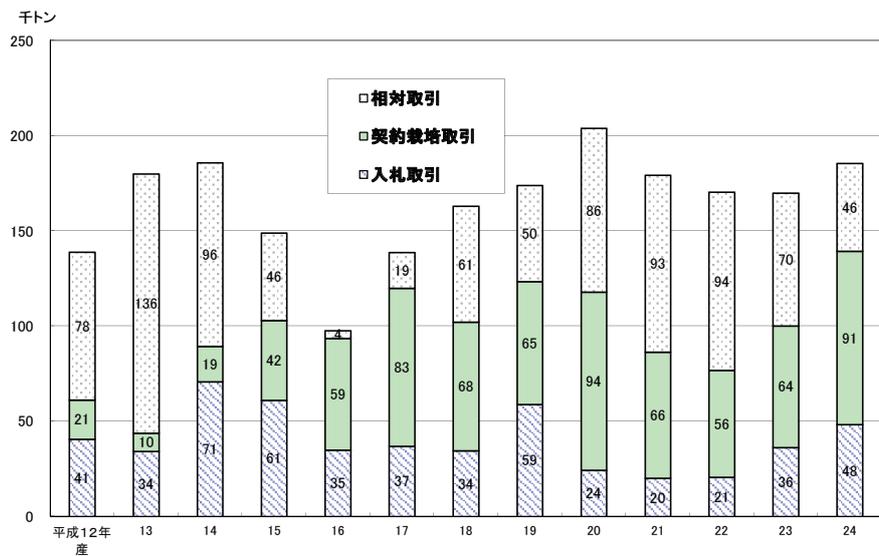
資料：農林水産省作物統計、農林水産省生産局大豆検査結果

6

図表 I-1-7 月別落札数量・平均落札価格の推移



図表 I-1-8 販売方法別販売数量の推移



図表 I-1-9 取引方法別販売数量の推移

年産	数量(トン)				割合(%)		
	入札取引	相対取引	契約栽培取引	計	入札取引	相対取引	契約栽培取引
平成12年産	40,563	77,768	20,541	138,872	29.2%	56.0%	14.8%
13	34,051	136,313	9,624	179,988	18.9%	75.7%	5.3%
14	70,637	96,458	18,767	185,862	38.0%	51.9%	10.1%
15	60,936	45,893	41,993	148,822	40.9%	30.8%	28.2%
16	34,772	4,164	58,701	97,637	35.6%	4.3%	60.1%
17	36,866	18,835	83,034	138,735	26.6%	13.6%	59.9%
18	34,407	60,983	67,629	163,019	21.1%	37.4%	41.5%
19	58,879	50,410	64,540	173,829	33.9%	29.0%	37.1%
20	24,211	86,075	93,599	203,885	11.9%	42.2%	45.9%
21	19,980	92,925	66,363	179,268	11.1%	51.8%	37.0%
22	20,601	93,610	56,110	170,321	12.1%	55.0%	32.9%
23	36,191	69,852	63,848	169,891	21.3%	41.1%	37.6%
24	48,153	46,168	91,152	185,473	26.0%	24.9%	49.1%
前年差	11,962	-23,684	27,304	15,582	76.8%	-152.0%	175.2%

9

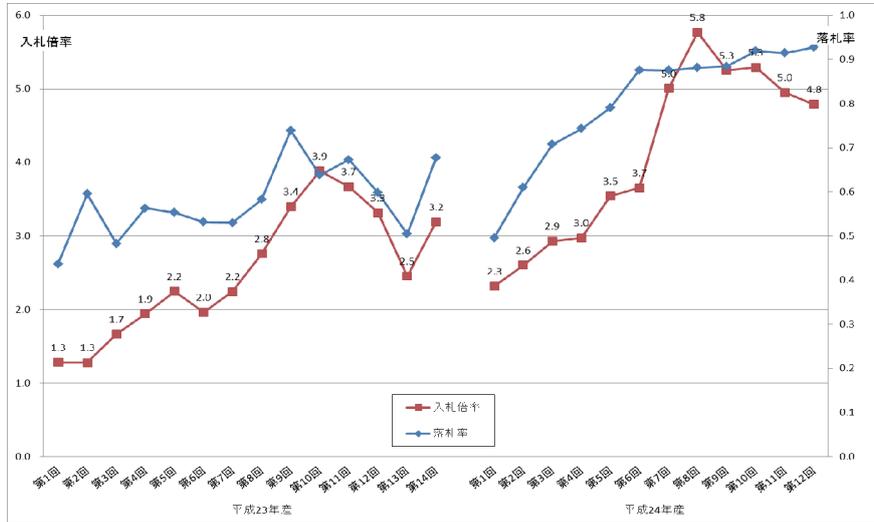
図表 I-1-10 産地品種銘柄別落札実績

産地品種銘柄別落札実績								
単位:トン、%								
産地品種	集荷数量	落札数量	落札割合	産地品種	集荷数量	落札数量	落札割合	
北海道とよまさり	34,375	7,894	23.0%	山口サチユタカ	667	268	40.2%	
福岡フクユタカ	14,997	5,015	33.4%	福井里のほほえみ	579	228	39.3%	
佐賀フクユタカ	14,431	3,744	25.9%	長崎フクユタカ	509	72	14.2%	
新潟エンレイ	8,768	2,776	31.7%	宮城あやこがね	501	88	17.6%	
秋田リュウホウ	6,999	1,625	23.2%	鳥根サチユタカ	501	171	34.1%	
富山エンレイ	6,907	2,280	33.0%	富山オオツル	498	159	32.0%	
北海道ユキシズカ	6,714	306	4.6%	愛媛フクユタカ	484	188	38.8%	
愛知フクユタカ	6,015	1,996	33.2%	新潟あやこがね	436	67	15.5%	
北海道スズマル	5,627	80	1.4%	北海道ハヤヒカリ	398			
宮城ミヤギシロメ	5,475	1,586	29.0%	千葉フクユタカ	384	112	29.2%	
青森おおすず	4,824	1,470	30.5%	福島あやこがね	380			
宮城タンレイ	4,747	1,231	25.9%	茨城ハタユタカ	351			
宮城タチナガハ	4,715	1,616	34.3%	北海道ツルムスメ	345			
三重フクユタカ	4,434	1,477	33.3%	大分むらゆたか	320	172	53.6%	
栃木タチナガハ	4,002	1,127	28.2%	広島サチユタカ	319			
山形エンレイ	3,836	1,260	32.9%	宮城すずほのか	314	0	0.0%	
岐阜フクユタカ	3,748	1,252	33.4%	宮城きぬさやか	260			
茨城タチナガハ	3,112	847	27.2%	石川あやこがね	240	47	19.5%	
熊本フクユタカ	3,020	1,036	34.3%	兵庫タチユタカ	229			
滋賀フクユタカ	2,796	911	32.6%	山形あやこがね	216	11	5.3%	
茨城納豆小粒	2,196	20	0.9%	鳥根フクユタカ	201	143	70.9%	
佐賀むらゆたか	2,186	983	45.0%	兵庫タマホマレ	200			
滋賀とゆたか	1,805	604	33.5%	大分ヨシロメ	198			
石川エンレイ	1,779	575	32.3%	静岡フクユタカ	186	62	33.4%	
岩手リュウホウ	1,661	233	14.0%	群馬タチナガハ	184	59	32.3%	
長野ナカセンナリ	1,592	331	20.8%	埼玉タチナガハ	181			
滋賀オオツル	1,571	525	33.4%	栃木納豆小粒	176	0	0.0%	
岩手ナンブシロメ	1,468	491	33.5%	宮崎フクユタカ	172	30	17.3%	
山形里のほほえみ	1,355	413	30.4%	鹿児島フクユタカ	169	10	5.9%	
大分フクユタカ	945	186	19.7%	福岡すずおとめ	161			
北海道音更大袖撰	942	196	20.8%	山口フクユタカ	158	38	24.2%	
山形リュウホウ	906	382	42.2%	長野ギンレイ	142			
福井エンレイ	861	287	33.3%	北海道大袖の舞	137	24	17.5%	
滋賀タマホマレ	781	258	33.0%	鳥取タマホマレ	132	69	52.5%	
北海道秋田	752	180	23.9%	岡山トヨシロメ	123			
福島タチナガハ	747	178	23.9%	新潟タチナガハ	110			
鳥取サチユタカ	716	347	48.4%	鳥根タマホマレ	107	50	46.8%	
富山シユレイ(東山)	682	226	33.2%	北海道大袖撰	103			

注: 集荷数量100トン以上の銘柄を降順により示す。産地品種銘柄の品種で粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。

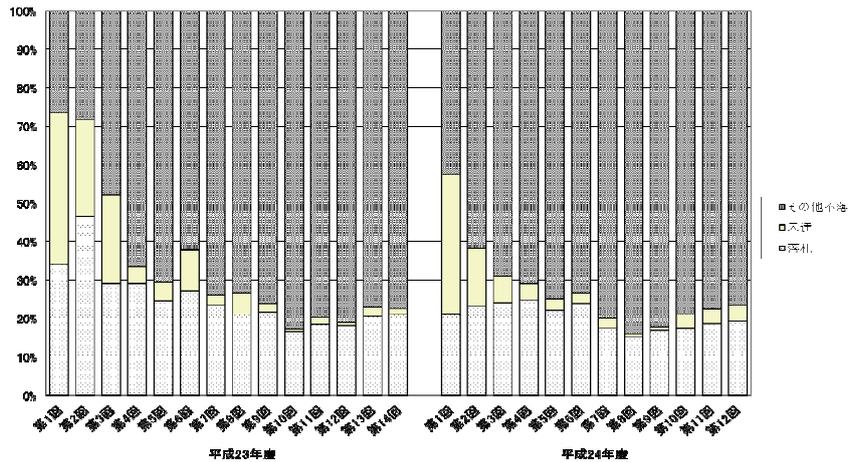
10

図表 I-1-11 入札回別入札倍率・落札率推移



注. 入札倍率: 入札ロット数÷上場ロット数
 落札率: 落札ロット数÷上場ロット数

図表 I-1-12 落札結果別ロット数分布



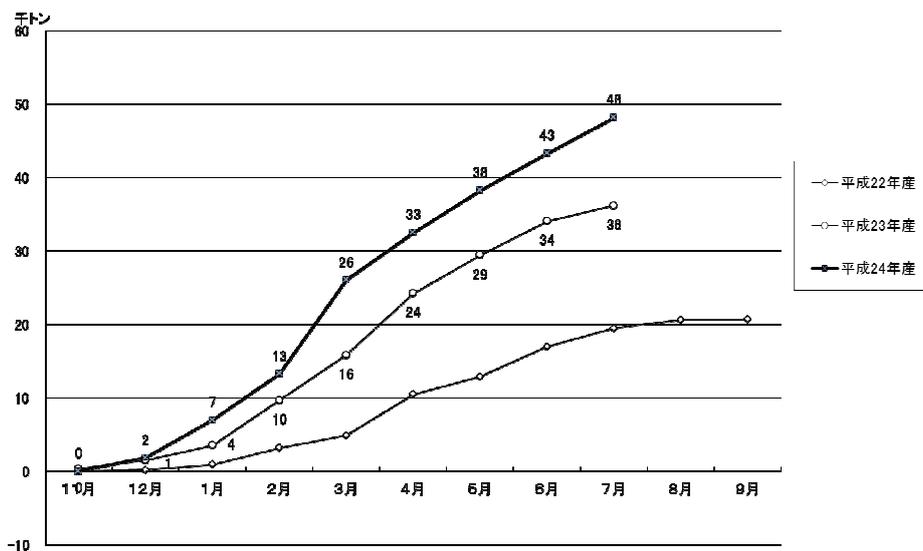
注. 各回の買い手入札ロットの計を100とした場合のロット数割合
 数値は、各区分のロット数
 未達とは落札下限価格未満の入札のための不落をいう。

図表 I - 1 - 13 月別上場・落札数量・平均落札価格・落札率

入札回	上場数量	落札数量	落札価格	落札率
	トン	トン	円/60kg	%
平成24年12月	3,614	1,822	7,069	50.4
平成25年1月	8,318	5,129	7,588	61.7
2月	8,947	6,301	7,745	70.4
3月	17,201	12,792	7,852	74.4
4月	7,392	6,459	8,107	87.4
5月	6,547	5,746	8,501	87.8
6月	5,622	5,049	9,004	89.8
7月	5,276	4,855	9,165	92.0
平成24年産計	62,918	48,153	8,145	76.5
平成23年産計	60,139	36,202	8,299	60.2
平成22年産計	64,052	20,667	6,829	32.3

注. 普通大豆・特定加工用大豆合計及びその加重平均落札価格である。

図表 I - 1 - 14 月別累積落札数量の推移(年産比較)

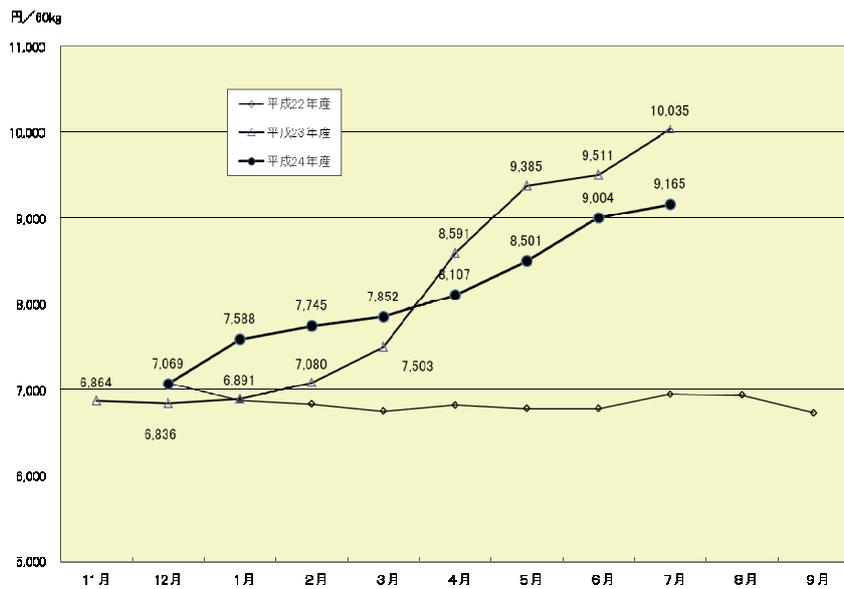


図表 I - 1 - 15 月別平均落札価格(22~24年産)

年産	単位:円/60kg		
	22	23	24
11月		6,864	
12月	7,077	6,836	7,069
1月	6,873	6,891	7,588
2月	6,829	7,080	7,745
3月	6,749	7,503	7,852
4月	6,818	8,591	8,107
5月	6,776	9,385	8,501
6月	6,777	9,511	9,004
7月	6,943	10,035	9,165
8月	6,933		
9月	6,729		
年産平均	6,829	8,299	8,145

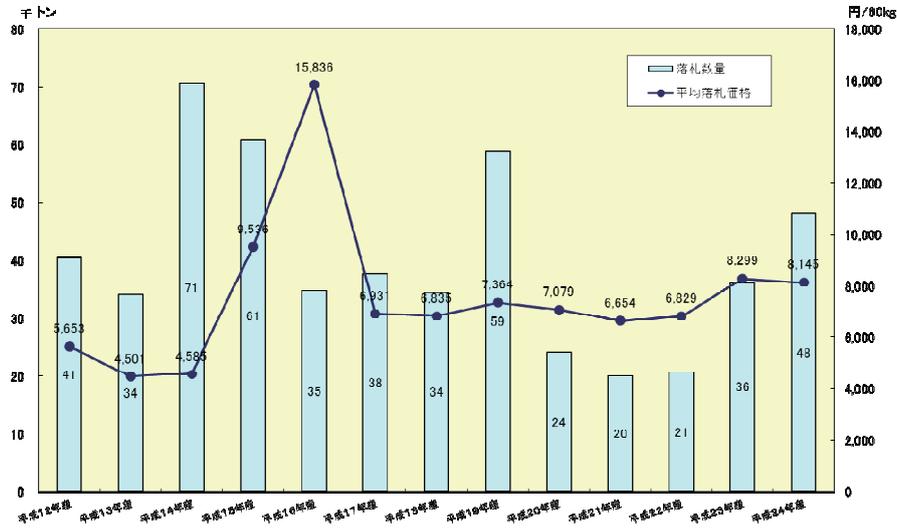
15

図表 I - 1 - 16 月別平均落札価格の推移(年産比較)



16

図表 I-1-17 年別平均落札価格・落札数量推移

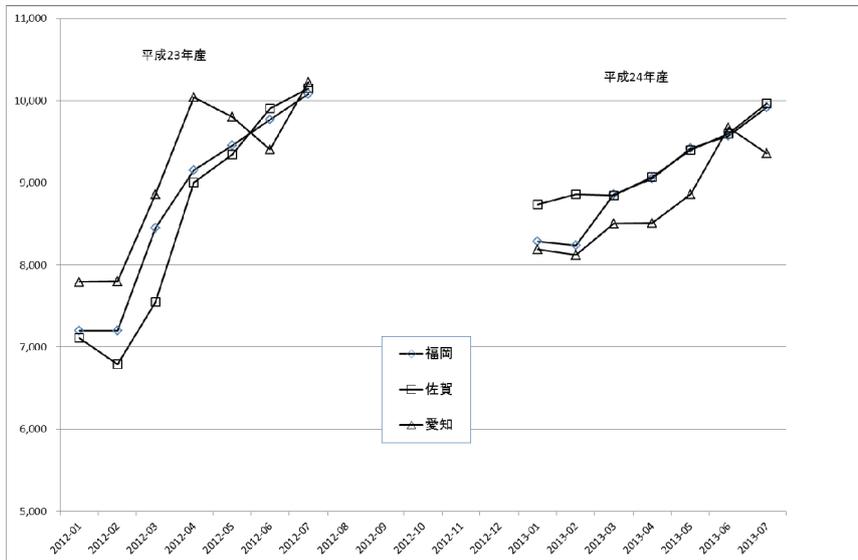


図表 I-1-18 産地品種銘柄別落札価格(前年産比較・24年産価格降順)

産地品種	平成23年産	平成24年産	前年差	24年産集荷数量	産地品種	平成23年産	平成24年産	前年差	24年産集荷数量
福岡フクユタカ	9,067	9,129	62	14,937	宮城タチナガハ	6,894	7,408	713	4,715
佐賀フクユタカ	9,343	9,122	-221	14,431	北海道ユキシズカ	7,300	7,402	102	6,714
長崎フクユタカ	9,350	9,006	-344	509	宮城ミヤギシロメ	6,768	7,325	557	5,475
滋賀フクユタカ	8,855	8,770	-85	2,796	千葉フクユタカ	7,079	7,235	156	384
北海道音更大袖振	8,691	8,757	66	942	山形あやこがね		7,100		216
山口サチユタカ	8,710	8,757	47	667	栃木タチナガハ	6,702	7,082	380	4,002
熊本フクユタカ	8,822	8,755	-67	3,020	宮城タシレイ	6,656	7,027	371	4,747
愛媛フクユタカ	8,615	8,751	136	484	茨城タチナガハ	7,083	6,998	-85	3,112
愛知フクユタカ	9,228	8,749	-479	6,015	新潟あやこがね		6,960		436
三重フクユタカ	9,288	8,635	-652	4,434	山形リュウホウ	6,458	6,942	483	906
茨城納豆小粒	8,300	8,625	325	2,196	石川あやこがね	7,616	6,932	-684	240
佐賀むらゆたか	7,975	8,603	628	2,186	北海道秋田	6,202	6,928	727	752
岐阜フクユタカ	9,150	8,577	-573	3,748	宮城あやこがね	6,442	6,894	452	501
鳥根サチユタカ	8,213	8,495	272	501	岩手ナンシロメ	6,735	6,864	129	1,468
滋賀こよゆたか	7,664	8,406	742	1,805	福島タチナガハ		6,780		747
大分フクユタカ	7,986	8,374	388	945	秋田リュウホウ	7,106	8,063	956	6,999
山口フクユタカ	9,374	8,332	-1,043	158	富山エンレイ	8,704	8,017	-687	6,907
滋賀タマホマレ	7,030	8,329	1,299	781	岩手リュウホウ	7,079	7,945	866	1,661
滋賀オオツル	9,036	8,284	-752	1,571	福井エンレイ	7,578	7,874	295	861
鳥根フクユタカ	9,663	8,281	-1,382	201	北海道スズマル	7,860	7,860	0	5,627
青森お泊り子	7,364	8,271	906	4,824	北海道大袖の舞		7,838		137
鳥取タマホマレ	9,070	8,267	-803	132	新潟エンレイ	8,245	7,795	-450	8,768
鳥根タマホマレ	8,330	8,267	-63	107	富山シュウレイ		7,780		682
大分むらゆたか	7,744	8,247	503	320	北海道とよまさり	7,678	7,759	81	34,375
鳥取サチユタカ	9,350	8,238	-1,112	716	静岡フクユタカ	8,367	7,704	-663	186
富山オオツル	7,848	8,171	323	498	山形里のほほえみ	8,181	7,649	-533	1,355
福井里のほほえみ		8,143		579	山形エンレイ	7,529	7,612	83	3,636
群馬タチナガハ		8,126	549	184	宮城タチナガハ	6,894	7,408	713	4,715
長野ナカセンナリ	8,046	8,100	55	1,592	北海道ユキシズカ	7,300	7,402	102	6,714
石川エンレイ	7,597	8,095	499	1,779	宮城ミヤギシロメ	6,768	7,325	557	5,475
秋田リュウホウ	7,106	8,063	956	6,999	千葉フクユタカ	7,079	7,235	156	384
富山エンレイ	8,704	8,017	-687	6,907	山形あやこがね		7,100		216
岩手リュウホウ	7,079	7,945	866	1,661	栃木タチナガハ	6,702	7,082	380	4,002
福井エンレイ	7,578	7,874	295	861	宮城タシレイ	6,656	7,027	371	4,747
北海道スズマル	7,860	7,860	0	5,627	茨城タチナガハ	7,083	6,998	-85	3,112
北海道大袖の舞		7,838		137	新潟あやこがね		6,960		436
新潟エンレイ	8,245	7,795	-450	8,768	山形リュウホウ	6,458	6,942	483	906
富山シュウレイ		7,780		682	石川あやこがね	7,616	6,932	-684	240
北海道とよまさり	7,678	7,759	81	34,375	北海道秋田	6,202	6,928	727	752
静岡フクユタカ	8,367	7,704	-663	186	宮城あやこがね	6,442	6,894	452	501
山形里のほほえみ	8,181	7,649	-533	1,355	岩手ナンシロメ	6,735	6,864	129	1,468
山形エンレイ	7,529	7,612	83	3,636	福島タチナガハ		6,780		747

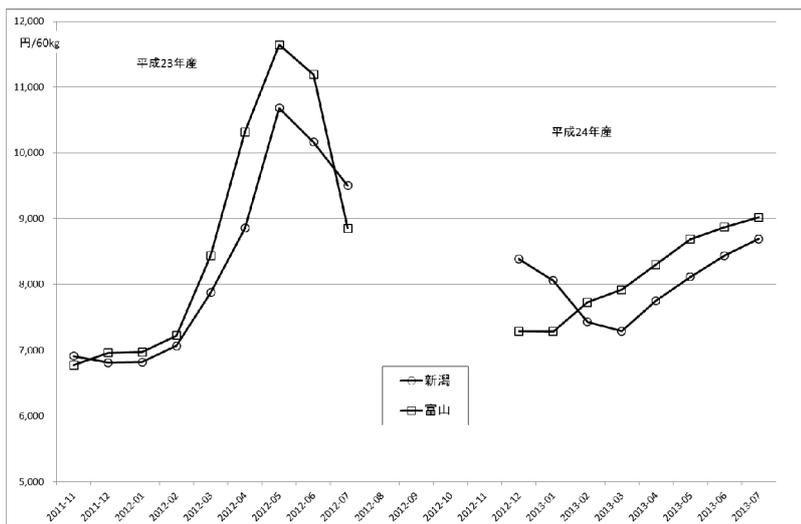
注. 各県の産地品種銘柄の品種毎の平均落札価格である。当該品種の大豆であって、粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含めて算出した。

図表 I-1-19 主要産地フクユタカ月別落札価格推移



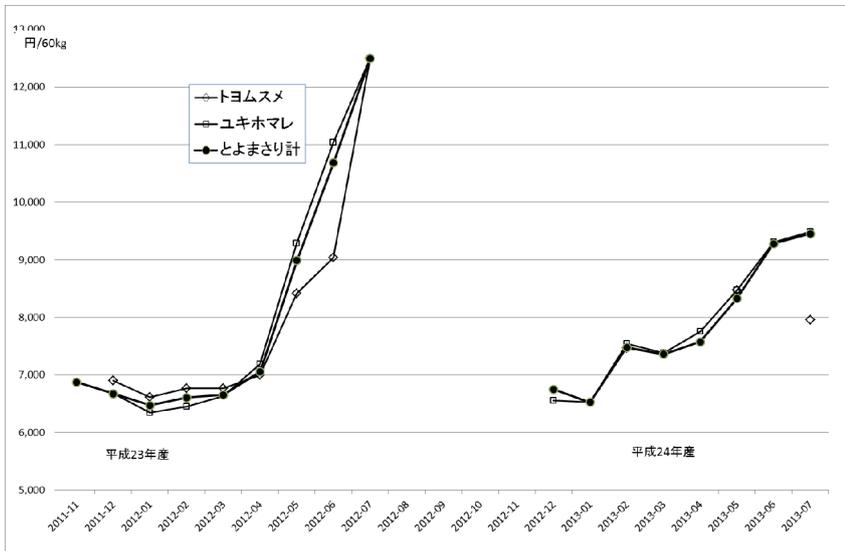
19

図 I-1-20 エンレイ主要産地月別落札価格推移



20

図 I-1-21 北海道とよまさり月別落札価格



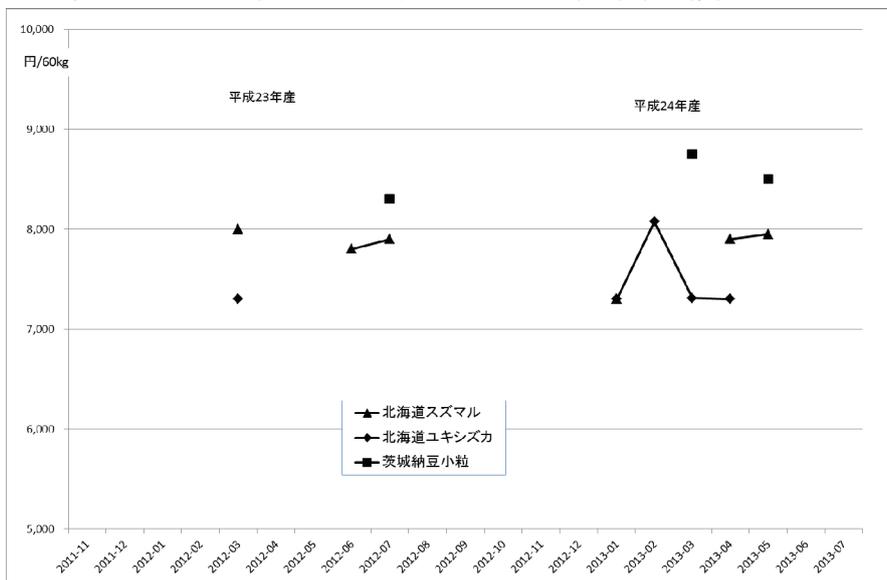
21

表 I-1-22 北海道とよまさり品種別落札状況(年産比較)

事項	品種	平成20年産	平成21年産	平成22年産	平成23年産	平成24年産
落札数量 (トン)	トヨムスメ	445	1,009	1,362	1,576	636
	トヨコマチ	20	129	136	339	358
	トヨホマレ	90	129	11	0	177
	ユキホマレ	1,269	1,688	975	3,686	6,326
	トヨハルカ	89	416	22	265	398
	計	1,913	3,371	2,507	5,866	7,894
落札価格 (円/60kg)	トヨムスメ	7,498	6,704	6,705	7,318	7,584
	トヨコマチ	7,520	5,795	6,549	7,161	7,665
	トヨホマレ	7,411	5,737	6,820		6,849
	ユキホマレ	7,439	6,151	6,331	7,948	7,829
	トヨハルカ	7,286	5,981	6,310	6,730	7,416
	平均	7,445	6,266	6,548	7,678	7,759
落札率 (%)	トヨムスメ	15.4%	64.1%	56.0%	53.2%	91.5%
	トヨコマチ	1.6%	9.0%	9.0%	55.5%	100.0%
	トヨホマレ	9.2%	11.7%	11.2%	0.0%	39.8%
	ユキホマレ	9.0%	10.5%	11.9%	73.6%	79.4%
	トヨハルカ	5.7%	27.0%	10.4%	46.7%	72.7%
	平均	9.2%	15.5%	20.1%	63.4%	78.8%

22

図表 I-1-23 主要な納豆仕向銘柄の月別平均落札価格の推移



23

図表 I-1-24 主要な納豆仕向銘柄落札状況(年産比較)

単位:トン

事項	年産	北海道 スズマル	北海道 ユキシズカ	茨城 納豆小粒	計
集荷数量 A	平成20年産	5,726	1,820	7,987	15,533
	平成21年産	4,854	2,687	2,376	9,916
	平成22年産	5,510	4,530	2,035	12,075
	平成23年産	5,274	5,944	2,370	13,588
	平成24年産	5,627	6,714	2,196	14,537
上場数量 B	平成20年産	1,991	1,233	1,370	4,593
	平成21年産	1,878	4,424	1,628	7,929
	平成22年産	2,328	3,809	1,004	7,142
	平成23年産	3,222	4,765	1,893	9,880
	平成24年産	3,889	3,865	1,864	9,618
落札数量 C	平成20年産	381	253	347	981
	平成21年産	327	386	169	882
	平成22年産	259	80	40	379
	平成23年産	50	10	11	70
	平成24年産	80	306	20	405
落札率 C/B	平成20年産	19.1%	20.5%	25.3%	21.3%
	平成21年産	17.4%	8.7%	10.4%	11.1%
	平成22年産	11.1%	2.1%	3.9%	5.3%
	平成23年産	1.5%	0.2%	0.6%	0.7%
	平成24年産	2.0%	7.9%	1.1%	4.2%
集荷数量に 対する落札 割合 C/A	平成20年産	6.6%	13.9%	4.3%	6.3%
	平成21年産	6.7%	14.4%	7.1%	8.9%
	平成22年産	4.7%	1.8%	1.9%	3.1%
	平成23年産	0.9%	0.2%	0.4%	0.5%
	平成24年産	1.4%	4.6%	0.9%	2.8%

24

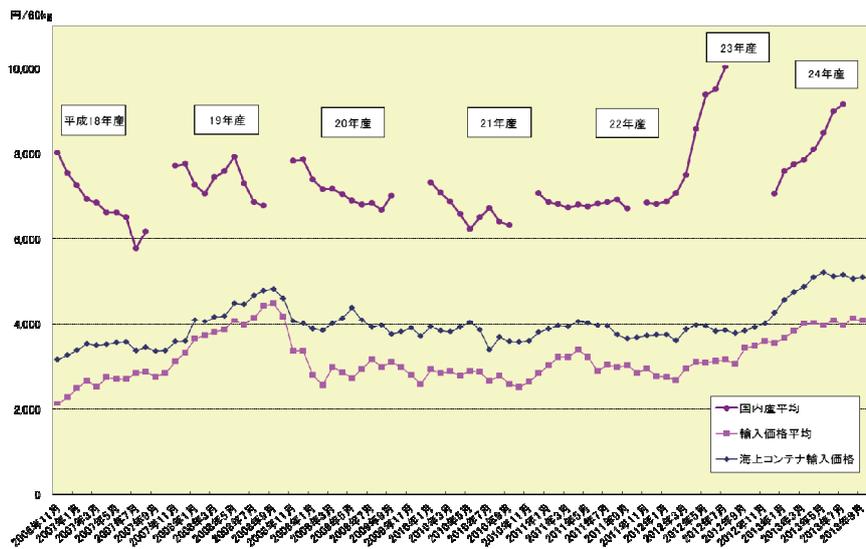
表 I-1-13 主要納豆仕向銘柄落札価格(年産比較)

単位:円

年産	北海道 スズマル	北海道 ユキシズカ	茨城 納豆小粒	平均
平成20年産	11,611	11,128	10,832	11,211
平成21年産	8,594	7,338	8,251	7,978
平成22年産	8,221	7,275	8,545	8,055
平成23年産	7,860	7,300	8,300	7,847
平成24年産	7,860	7,402	8,625	7,552

25

図表 I-1-25 内外大豆価格推移(2006.11月~2013.10月)



資料. 国内産: 月別平均落札価格、輸入: 財務省貿易統計

26

図表 I - 1 - 26 年産別内外価格差推移

単位: 円/60kg

年産	国産 A	輸入 海上コンテナ B	輸入計 C	A-B	A-C
平成22年産	6,829	3,864	3,023	2,965	3,806
平成23年産	8,299	3,824	3,043	4,475	5,256
平成24年産	8,145	4,897	3,921	3,248	4,224

資料: 財務省「貿易統計」

注1: 輸入価格は、国産価格との比較のため、国産大豆の出回り期に相当する11月から翌年10月までの金額の集計値を数量の集計値で除して産出した。

注2: 輸入・海上コンテナは、運送形態が海上コンテナによるものであり、輸入計の内数である。